

### ●京都府交響プロジェクト交付金事業の特徴とお願い

今年申請して文書で強く協調していることとして7項目のイベントでいずれも開催を予告するポスターを制作するチラシの予算を計上しています。そしてその製作は、少なくとも実施3か月前に作り上げて、山城地域の自治体の広報誌に開催・予告記事として掲載を実現することを掲げています。もちろん商業新聞にもこれまで通り予告記事や取材記事の提供や案内をしますが、こここのところをぜひ改善していこうと思います。そのために事務局会議の充実を図りたいと思います。社員会員に皆さんから積極的な提案をお待ちしています。又イベント終了時には活用した資料の一層の充実を力をおかしく下さい。

### ●普賢寺小学校総合学習支援 感想文届く

7月5日に普賢寺小学校へ総合学習支援ができたことに大村幸正新理事長と山村がお礼に伺いました。校長先生にはお忙しい時間を割いて対応していただきました。昨年児童から感想文をいただいたので感激したことを伝えました。そこで今年は指導した伊藤千恵子さんと金田徹さんが感想文を書いていただいたので、それを参加児童の皆さんにお渡しをお願いしました。これをきっかけに児童と里山の会との双方向の通信が生まれたらと期待をしていました。すると早速翌日に普賢寺小学校の4年生16名の児童全員からお礼の手紙が届きました。ほとんどの手紙が昨年以上にしっかりした文字で書かれていて大きな進歩がされていることが読み取れました。素晴らしい授業や指導が展開されていると強く感じました。

### ●親子で遊ぼう学ぼう魚とりの取組みについて

里山の会の魚とりの取組みは、子どもたちにとって大変楽しみな取り組みで多くの子どもたちのご父兄と共に参加いただくメインイベントです。これまでは河川レンジャーのメンバーに加えて、里山の会員が主力になって活動を展開してきましたが、近ごろは河川レンジャーとの関係が希薄になり、コロナの影響もあって関係が軽くなってしまい、レンジャーの方から木津川本川での8月の魚とりには協力できないということになってしまいました。そこで里山の会であらためて相談した結果、前週の結論に至りました。しかし僅差での決定だったので来週に実施可能と考えられる案を出そうと提案しましたが、代替え案の提案なく問題点の解決には至りませんでした。一番大きな課題は高齢化と体力問題、そして安全対策と開催回数でしたので、何よりも若い人手の問題と考え、若手スタッフの確保に手立てをいたしましたところ、8月8日であれば5人ほどの助っ人に目途が付き、開催が可能となりました。まだまだ軽く開催とはなりにくい面がありますが、有田勉理事の下で開催の可能性が生まれつつありますことをお知らせします。

### ●木津川の希少種植生調査業務の取組みについて

取組みの期間にかなりの幅があって、季節の変化が開花や結実に大変影響があり、予定表通りにならないのが普通で、計画した日程に幅があるのが丁度良い加減です。しかし計画通りに進めないで報告書などに進捗の記帳が難しく苦労しています。これまでは現場任せでありましたが、少し改善を図っていただき進捗状況が明確になり進み始めました。

### ●イヌハギの取組みについて

木津川の希少種保存の取組みのうち生育場所から見られなくなったところが数か所あります。中

でも「イヌハギ」の生育場所は一か所しかなく、貴重な生育場所で、大切に保存されてきました。それがつい最近予想もしていないところで新しく生育場所が発見されました。ここは公園と指定されているところで管理者が雑草として刈り取りをされていたように見えるところです。堤防を散策する方にとって休憩場所にはうってつけの場所なので、ぜひ大切にしてほしいと思います。

### ●京田辺市民文化祭の名称が変更される

先日の文化協会の会議で名称の変更が議決されたと報告がありました。長年同じ名称で市民の間で十分徹底してきた取組で社会的に文化祭として取り組まれてきたもので、名称の変更についてこれまで支障があるとは聞き及んでいなく、突然の提起でした。聞くところでは産業祭との連携や文化祭の性格の変更が話題になっているそうだという話もあったとか。いずれにしてもこれまで里山の会としては、模擬店の出店と活動発表の場として京田辺市域の環境や自然の実情を展開し、二か所の参加を行ってきたものです。事務局会議では、名称変更の必要性の説明が不十分で納得できないとの意見が多く出されていました。文化協会傘下の団体として経過の説明を求めたいと思います。

### ●7月17日実施の「夜の生き物観察会」 募集定員に到達

メールで募集をしたところ数日間で定員に達しました。昨年も一昨年も夜間の事業イベントで悪条件の元ですが、たくさんの御応募に感謝いたします。また時間の関係や応募されてはずれになられた多くの皆さんには8月22日開催の「京都府子どもの水辺交流発表会」、9月12日開催の「カヌー体験」、それに12月には冬の昆虫観察を計画しています。そして2022年1月には「近畿子ども水辺発表交流会」を奈良県王寺町で開催予定をしていますので、ふるってご参加ください。また、ご希望があればお応えできるようにも考えていますので、どんどん積極的にリクエストを送ってください。心からお待ちしています。



7月3日農園でジャガイモ掘り 19名参加、後、みんなで試食しました